

表 16. この1ヶ月の体の痛み 平成 19 年度調査

	公衆浴場習慣的利用者	一般住民
1. なかった	422 人 (35.0%)	499 人 (34.9%)
2. かすか	384 人 (31.8%)	408 人 (28.6%)
3. 軽い	319 人 (22.2%)	414 人 (28.6%)
4. 強い	73 人 (6.0%)	100 人 (7.0%)
5. 非常に激しい痛み	9 人 (0.7%)	7 人 (0.5%)

N. S.

表 17. この1ヶ月の元気の程度 平成 17 年度調査

	公衆浴場習慣的利用者	一般住民
1. 非常に元気	365 人 (22.1%)	334 人 (20.7%)
2. かなり元気	725 人 (43.9%)	776 人 (48.1%)
3. 少し元気	444 人 (26.9%)	412 人 (25.6%)
4. わずかに元気	100 人 (6.1%)	76 人 (4.7%)
5. 全く元気無し	17 人 (1.0%)	14 人 (0.9%)

N. S.

表 18. この1ヶ月の元気の程度 平成 19 年度調査

	公衆浴場習慣的利用者	一般住民
1. 非常に元気	233 人 (19.3%)	244 人 (17.1%)
2. かなり元気	560 人 (46.4%)	663 人 (46.4%)
3. 少し元気	310 人 (25.7%)	398 人 (27.8%)
4. わずかに元気	92 人 (7.6%)	98 人 (6.9%)
5. 全く元気無し	13 人 (1.1%)	27 人 (1.9%)

N. S.

表 19. この1ヶ月の人との付き合いの支障 平成 17 年度調査

	公衆浴場習慣的利用者	一般住民
1. ぜんぜんなかった	1063 人 (64.5%)	1091 人 (67.6%)
2. わずかにあった	395 人 (24.0%)	372 人 (23.1%)
3. 少しあった	152 人 (9.2%)	120 人 (7.4%)
4. かなりあった	30 人 (1.8%)	26 人 (1.6%)
5. つきあいができなかった	8 人 (0.5%)	4 人 (0.2%)

N. S.

表 20. この1ヶ月の人との付き合いの支障 平成19年度調査

	公衆浴場習慣的利用者	一般住民
1. ぜんぜんなかった	751人 (62.2%)	855人 (60.0%)
2. わずかにあった	310人 (25.7%)	363人 (25.5%)
3. 少しあった	118人 (9.8%)	162人 (11.4%)
4. かなりあった	23人 (1.9%)	31人 (2.2%)
5. つきあいができなかった	6人 (0.4%)	14人 (1.0%)

N. S.

表 21. この1ヶ月の不安・落ち込み等の悩み 平成17年度調査

	公衆浴場習慣的利用者	一般住民
1. ぜんぜんなし	614人 (37.2%)	632人 (39.1%)
2. わずかにあり	597人 (36.2%)	568人 (35.1%)
3. 少しあり	299人 (18.1%)	289人 (17.9%)
4. かなりあり	94人 (5.7%)	102人 (6.3%)
5. 非常にあり	47人 (2.8%)	25人 (1.5%)

N. S.

表 22. この1ヶ月の不安・落ち込み等の悩み 平成19年度調査

	公衆浴場習慣的利用者	一般住民
1. ぜんぜんなし	431人 (35.6%)	513人 (35.8%)
2. わずかにあり	451人 (37.3%)	532人 (37.1%)
3. 少しあり	236人 (16.4%)	254人 (17.7%)
4. かなりあり	70人 (4.9%)	98人 (8.8%)
5. 非常にあり	22人 (1.8%)	36人 (2.5%)

N. S.

表 23. この1ヶ月の仕事や家事に気持ちの支障 平成17年度調査

	公衆浴場習慣的利用者	一般住民
1. ぜんぜんなし	812人 (49.3%)	881人 (54.4%)
2. わずかにあり	521人 (31.6%)	453人 (28.0%)
3. 少しあり	233人 (14.1%)	217人 (13.4%)
4. かなりあり	75人 (4.6%)	59人 (3.6%)
5. 非常にあり	7人 (0.4%)	10人 (0.6%)

N. S.

表 24. この1ヶ月の仕事や家事に気持ちの支障 平成 19 年度調査

	公衆浴場習慣的利用者	一般住民
1. ぜんぜんなし	556 人 (44.9%)	655 人 (45.8%)
2. わずかにあり	412 人 (34.0%)	468 人 (32.7%)
3. 少しあり	190 人 (15.7%)	226 人 (15.8%)
4. かなりあり	52 人 (4.3%)	71 人 (5.0%)
5. 非常にあり	2 人 (0.1%)	11 人 (0.8%)

N.S.

表 25. この1ヶ月の睡眠の質 平成 17 年度調査

	公衆浴場習慣的利用者	一般住民
1. 非常によい	303 人 (18.4%)	273 人 (17.0%)
2. かなりよい	1039 人 (63.1%)	1009 人 (62.8%)
3. かなり悪い	288 人 (17.5%)	301 人 (18.7%)
4. 非常に悪い	17 人 (1.0%)	23 人 (1.4%)

N.S.

表 26. この1ヶ月の睡眠の質 平成 19 年度調査

	公衆浴場習慣的利用者	一般住民
1. 非常によい	216 人 (17.9%)	239 人 (16.9%)
2. かなりよい	784 人 (65.1%)	865 人 (61.3%)
3. かなり悪い	203 人 (16.8%)	284 人 (20.1%)
4. 非常に悪い	2 人 (0.1%)	24 人 (1.7%)

N.S.

表 27. 20分以上の運動を週2回以上実施状況 平成 17 年度調査

	公衆浴場習慣的利用者	一般住民
1. していない	955 人 (58.4%)	1056 人 (65.5%)
2. している	679 人 (41.6%)	557 人 (34.5%)

N.S.

表 28. 20分以上の運動を週2回以上実施状況 平成19年度調査

	公衆浴場習慣的利用者	一般住民
1. していない	706人 (59.1%)	878人 (62.0%)
2. している	489人 (40.9%)	539人 (38.0%)

N.S.

表 29. 1週間の入浴回数 平成17年度調査

	公衆浴場習慣的利用者	一般住民
1. 0～1回	22人 (1.3%)	46人 (2.9%)
2. 2～3回	309人 (18.8%)	371人 (23.0%)
3. 4～6回	434人 (26.4%)	393人 (24.4%)
4. ほとんど毎日	879人 (53.4%)	803人 (49.8%)

N.S.

表 30. 1週間の入浴回数 平成19年度調査

	公衆浴場習慣的利用者	一般住民
1. 0～1回	14人 (1.2%)	31人 (2.2%)
2. 2～3回	236人 (19.6%)	354人 (24.8%)
3. 4～6回	328人 (27.2%)	331人 (23.2%)
4. ほとんど毎日	628人 (52.1%)	711人 (49.8%)

N.S.

表 31. つまづいたりしての骨折の経験(事故以外) 平成17年度調査

	公衆浴場習慣的利用者	一般住民
1. あり	80人 (5.5%)	88人 (5.5%)
2. なし	1544人 (94.5%)	1522人 (94.5%)

N.S.

表 32. ここ一年間に骨折の経験人(事故以外) 平成19年度調査

	公衆浴場習慣的利用者	一般住民
1. あり	22人 (1.8%)	24人 (1.7%)
2. なし	1188人 (98.2%)	1401人 (98.3%)

N.S.

注：平成17年と平成19年で若干質問が異なるので回答率が異なる。

表 33. 脳卒中の既往歴 平成 17 年度調査

	公衆浴場習慣的利用者	一般住民
1. あり	24 人 (1.5%)	26 人 (1.6%)
2. なし	1620 人 (98.5%)	1593 人 (98.4%)

N. S.

表 34. ここ 1 年巻の脳卒の発症 平成 19 年度調査

	公衆浴場習慣的利用者	一般住民
1. あり	9 人 (0.7%)	12 人 (0.8%)
2. なし	1203 人 (99.3%)	1417 人 (99.2%)

N. S.

注：平成 17 年と平成 19 年で若干質問が異なるので回答率が異なる。

表 35. 現在すんでいる町の生活の満足度 平成 17 年度調査、

	公衆浴場習慣的利用者	一般住民
1. 大満足	121 人 (7.2%)	76 人 (4.7%)
2. 満足	616 人 (36.8%)	658 人 (40.3%)
3. まあまあ満足	783 人 (46.7%)	764 人 (46.8%)
4. あまり満足でない	126 人 (7.5%)	123 人 (7.5%)
5. 不満足	29 人 (1.7%)	13 人 (0.8%)

P<0.05

表 36. 現在すんでいる町の生活の満足度 平成 19 年度調査

	公衆浴場習慣的利用者	一般住民
1. 大満足	88 人 (7.2%)	55 人 (3.8%)
2. 満足	455 人 (37.4%)	565 人 (39.1%)
3. まあまあ満足	557 人 (45.8%)	699 人 (48.4%)
4. あまり満足でない	104 人 (8.6%)	109 人 (7.5%)
5. 不満足	11 人 (0.9%)	16 人 (1.1%)

P<0.05

表 37. これまで身につけた技術を使う機会 平成 17 年度調査

	公衆浴場習慣的利用者	一般住民
1. あまりない	485 人 (29.2%)	490 人 (30.2%)
2. 何とも言えない	672 人 (40.4%)	641 人 (39.5%)
3. ある	506 人 (30.4%)	493 人 (30.4%)

N. S.

表 38. これまで身につけた技術を使う機会 平成 19 年度調査

	公衆浴場習慣的利用者	一般住民
1. あまりない	336 人 (27.9%)	394 人 (27.6%)
2. 何とも言えない	524 人 (43.5%)	579 人 (40.5%)
3. ある	345 人 (28.6%)	457 人 (32.0%)

N. S.

表 39. なにか集まりの会員になったの活動 平成 17 年度調査

	公衆浴場習慣的利用者	一般住民
1. している	512 人 (32.3%)	631 人 (39.8%)
2. 以前はしていた	261 人 (16.5%)	250 人 (15.8%)
3. していない	813 人 (51.3%)	704 人 (44.4%)

P<0.05

表 40. なにか集まりの会員になったの活動 平成 19 年度調査

	公衆浴場習慣的利用者	一般住民
1. している	395 人 (33.5%)	582 人 (41.7%)
2. 以前はしていた	208 人 (17.7%)	220 人 (15.8%)
3. していない	571 人 (48.6%)	594 人 (42.6%)

P<0.05

表 41. この 1 年間の町内会や集まりへの参加状況 平成 17 年度調査

	公衆浴場習慣的利用者	一般住民
1. 参加した	918 人 (55.5%)	1060 人 (65.5%)
2. 参加できなかった	473 人 (28.6%)	359 人 (22.2%)
3. 参加しようと思わない	262 人 (15.8%)	199 人 (12.3%)

P<0.05

表 42. この1年間の町内会や集まりへの参加状況 平成19年度調査

	公衆浴場習慣的利用者	一般住民
1. 参加した	620人 (51.5%)	915人 (63.8%)
2. 参加できなかった	394人 (32.7%)	361人 (25.2%)
3. 参加しようと思わない	191人 (15.9%)	158人 (11.0%)

P<0.05

表 43. 親しみを感じ、何でも話せる人の有無 平成17年度調査

	公衆浴場習慣的利用者	一般住民
1. いない	67人 (4.0%)	46人 (2.8%)
2. 何とも言えない	260人 (15.5%)	289人 (17.7%)
3. いる	1351人 (80.5%)	1297人 (79.5%)

N.S.

表 44. 親しみを感じ、何でも話せる人の有無 平成19年度調査

	公衆浴場習慣的利用者	一般住民
1. いない	42人 (3.5%)	51人 (3.5%)
2. 何とも言えない	213人 (17.5%)	279人 (19.3%)
3. いる	959人 (79.0%)	1119人 (77.2%)

N.S.

表 45. 友達、知人や身内などとお話している程度 平成17年度調査

	公衆浴場習慣的利用者	一般住民
1. よく話している	633人 (37.9%)	627人 (38.3%)
2. まあまあ話している	825人 (49.3%)	802人 (49.0%)
3. あまり話していない	214人 (12.8%)	208人 (12.7%)

N.S.

表 46. 友達、知人や身内などとお話している程度 平成19年度調査

	公衆浴場習慣的利用者	一般住民
1. よく話している	440人 (38.2%)	484人 (33.5%)
2. まあまあ話している	603人 (49.6%)	754人 (52.3%)
3. あまり話していない	173人 (14.2%)	205人 (14.2%)

N.S.

表 47. ひとりぼっちと感ずる頻度 平成 17 年度調査

	公衆浴場習慣的利用者	一般住民
1. よくある	92 人 (5.5%)	41 人 (2.5%)
2. 時々ある	354 人 (21.2%)	259 人 (15.8%)
3. あまりない	686 人 (41.0%)	678 人 (41.4%)
4. ほとんどない	540 人 (32.3%)	659 人 (40.3%)

P<0.05

表 48. ひとりぼっちと感ずる頻度 平成 19 年度調査

	公衆浴場習慣的利用者	一般住民
1. よくある	54 人 (4.4%)	39 人 (2.7%)
2. 時々ある	288 人 (23.7%)	274 人 (18.9%)
3. あまりない	504 人 (41.4%)	631 人 (43.6%)
4. ほとんどない	370 人 (30.4%)	504 人 (34.8%)

N. S.

表 49. 休養・保養のための旅行の頻度 平成 17 年度調査

	公衆浴場習慣的利用者	一般住民
1. 年に何回か行く	715 人 (42.9%)	736 人 (45.1%)
2. 2～3年に何回	417 人 (25.0%)	393 人 (24.1%)
3. ほとんど行かない	533 人 (32.0%)	503 人 (30.8%)

N. S.

表 50. 休養・保養のための旅行の頻度 平成 19 年度調査

	公衆浴場習慣的利用者	一般住民
1. 年に何回か行く	499 人 (41.4%)	627 人 (43.5%)
2. 2～3年に何回	317 人 (26.3%)	372 人 (25.8%)
3. ほとんど行かない	390 人 (32.3%)	441 人 (30.6%)

N. S.

表 51. BMI (Kg/m²) 平均値 (標準偏差) 平成 17 年度調査

	公衆浴場習慣的利用者	一般住民
	22.51 (3.30)	22.49 (3.06)

N. S.

表 52. BMI (Kg/m²) 平均値 (標準偏差) 平成 19 年度調査

公衆浴場習慣的利用者	一般住民
22.52(3.33)	22.50 (3.16)

N. S.

平成 19 年度の調査の結果の方がわずかながら平成 17 年度の調査結果より、公衆浴

場の習慣的利用者の健康状況が良いことが多く示唆された。

2 3年間の調査結果をリンケージして公衆浴場習慣的利用者と一般住民の比較した結果

す)は平成 17 年度とのデータのリンケージができたものは 1221 名分を対象とし、町内会の一般住民では平成 17 年度とのデータのリンケージができた 1340 名分を対象とした。

データは公衆浴場習慣的利用者 (以下は図表の紙幅の関係で「公衆浴場利用群」略

公衆浴場の習慣的利用者と一般町内会住民 のケース・コントロール & 追跡研究の性・年齢階級人数分布

性別	利用群	町内会群
男	587人(48.2%)	671人(50.1%)
女	633人(51.8%)	657人(49.9%)

年齢階級(N.S.)		
	利用群	町内会群
20歳代	98人(8.1%)	84人(6.3%)
30歳代	193人(16.0%)	201人(15.1%)
40歳代	116人(9.6%)	180人(13.5%)
50歳代	266人(22.1%)	277人(20.8%)
60歳代	288人(23.9%)	339人(25.5%)
70歳代	245人(20.3%)	251人(18.8%)

注: 2群で性・年齢階級間で有意な差異はない

図1. この1年間に通院が無い割合(全体)

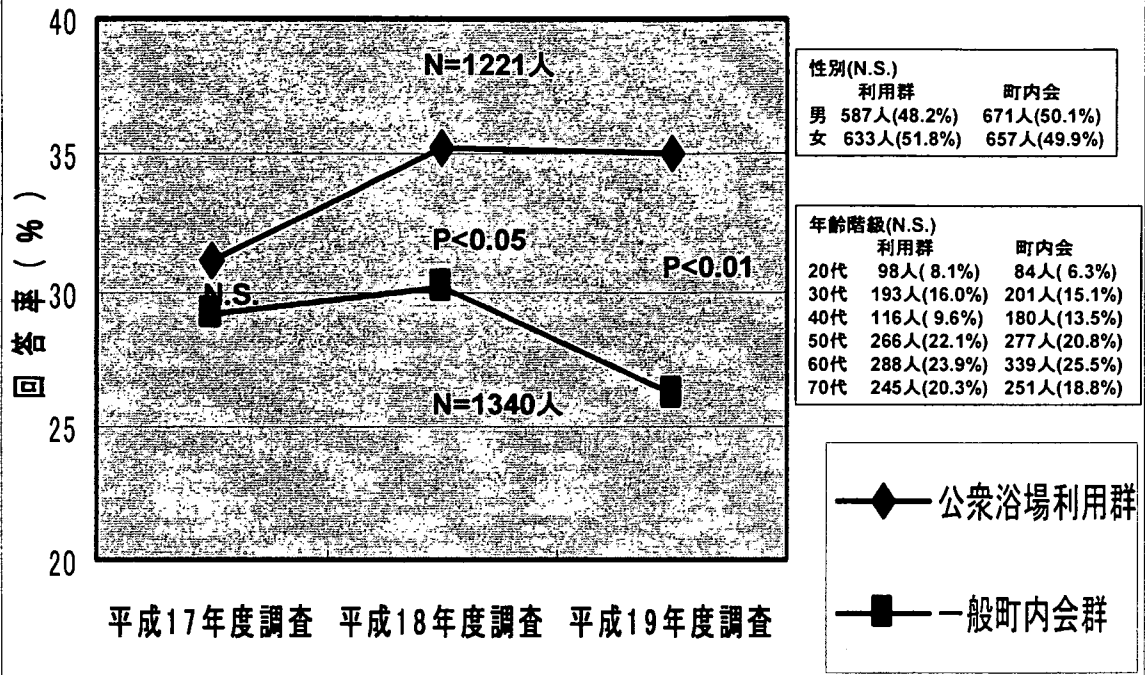


図2. この1年間に仕事を休まない割合(全体)

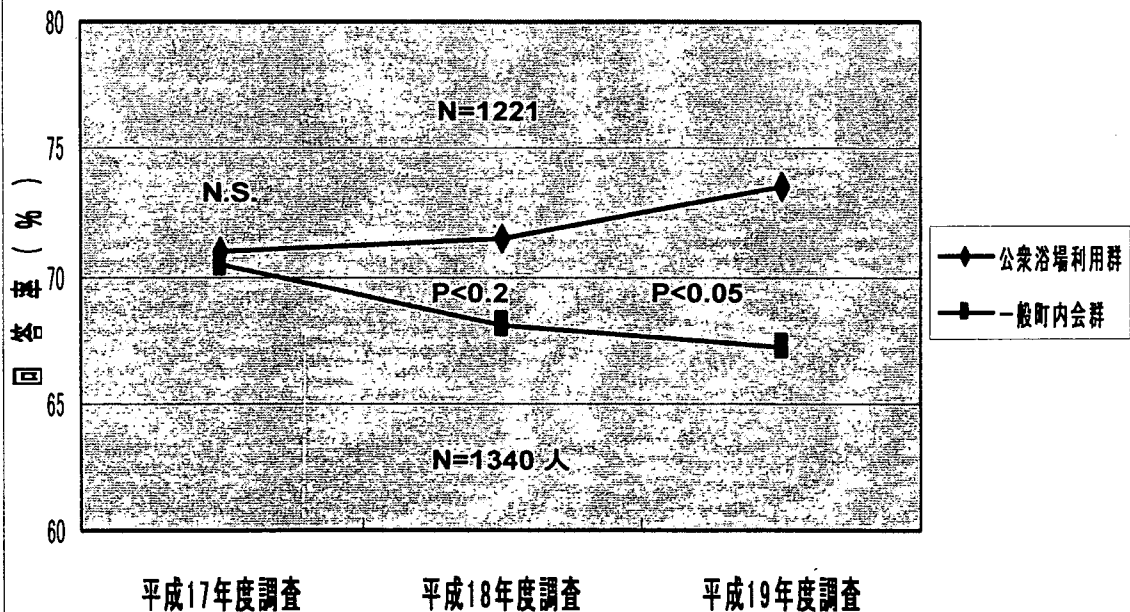
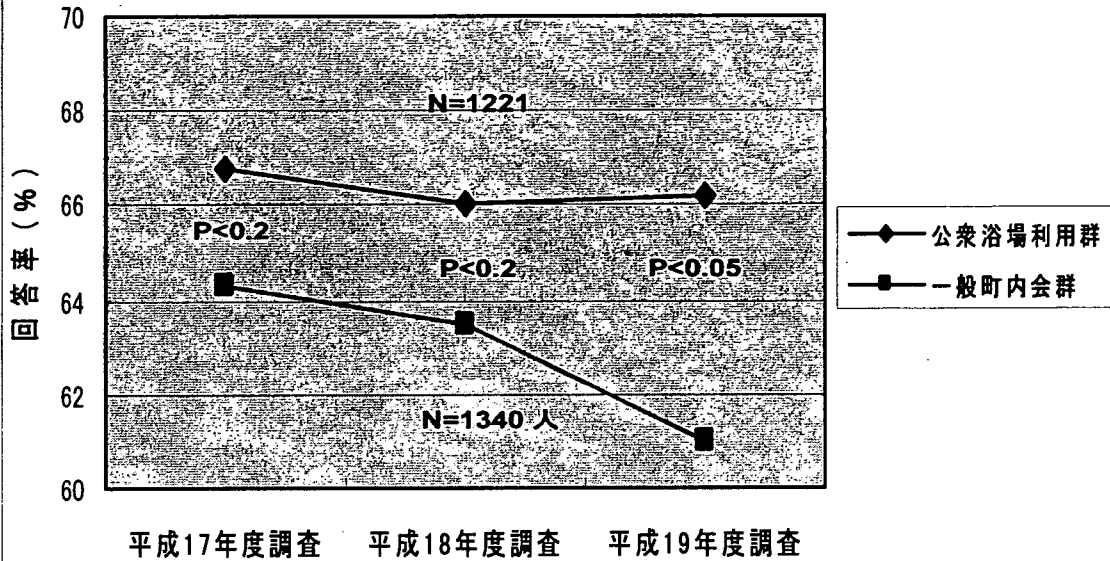


図3. 最近の健康状況が良い割合(全体)



平成19年度の状況の変化(平成17年度と比較して)
表53. 健康状況の変化別人数(4段階で評価)

	浴場利用群(%)	一般町内会(%)
2段階改善	14(1.2%)	6(0.5%)
1段階改善	221(18.9%)	208(16.3%)
変化なし	709(60.1%)	790(62.0%)
1段階悪化	208(17.8%)	249(19.5%)
2段階悪化	16(1.3%)	20(1.6%)
3段階悪化	0(0.0%)	1(0.1%)

検定結果 N.S. P<0.2で悪化

(検定方法はウィルコクソンの対応のある2群の検定:以降同様)

注:3段階改善者は両群ともに0人であった。

町内会の方は2年間で悪化していることが示唆されたが、浴場利用群は健康状態が維持されている。

表54. 通院状況の変化別人数(5段階で評価)

	浴場利用群(%)	一般町内会(%)
4段階改善	6(0.5%)	8(0.6%)
3段階改善	23(2.0%)	21(1.6%)
2段階改善	46(3.9%)	37(2.9%)
1段階改善	237(20.1%)	217(16.7%)
変化なし	607(51.5%)	693(53.4%)
1段階悪化	188(15.9%)	254(19.6%)
2段階悪化	42(3.6%)	39(3.0%)
3段階悪化	26(2.2%)	24(1.8%)
4段階悪化	4(0.4%)	5(0.4%)
検定結果	P<0.2で改善	N.S.

浴場利用群は2年間で改善していることが示唆されたが、町内会群は入院状況に変化が無いことが示された。

いずれの場合も、公衆浴場の習慣的利用群の方が健康状況が良好に維持または増進

していることが示唆される結果であった。

3 町内会の中での公衆浴場の利用頻度別の比較
(公衆浴場の利用が週1回以上を「利用群」

それ以下を「非利用群」とした。
なお、両群で性・年齢階級に有意な差異は無かった)

図4. この1年間に通院が無い割合
(町内会利用頻度別)

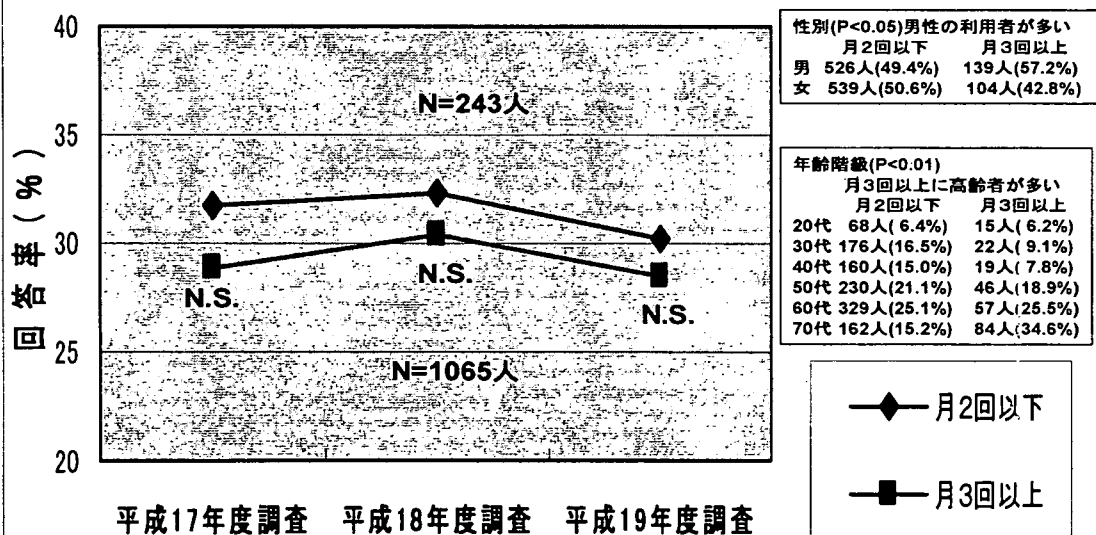


図5. この1年間に仕事を休まない割合
(町内会利用頻度別)

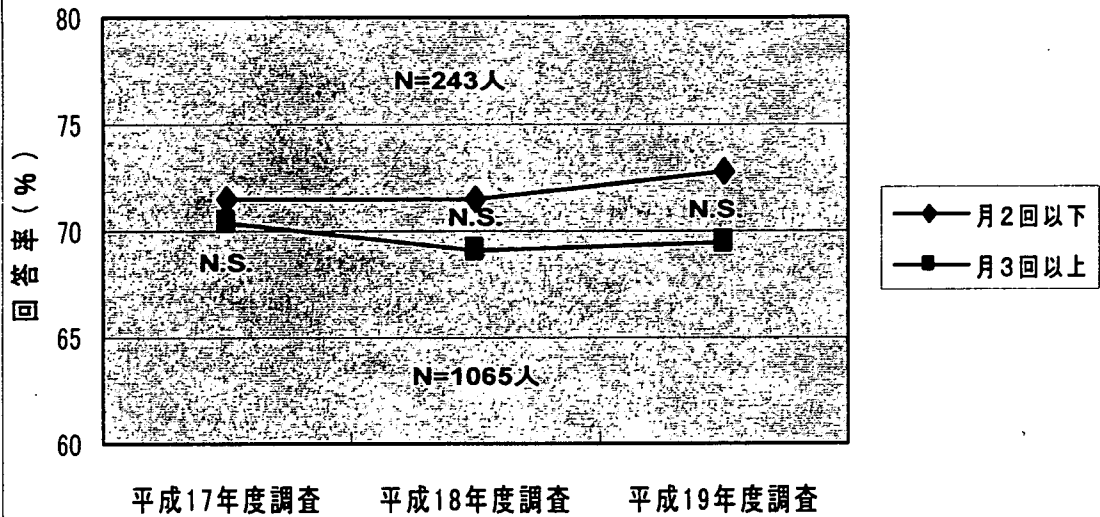


図6. 最近の健康状況が良い割合
(町内会利用頻度別)

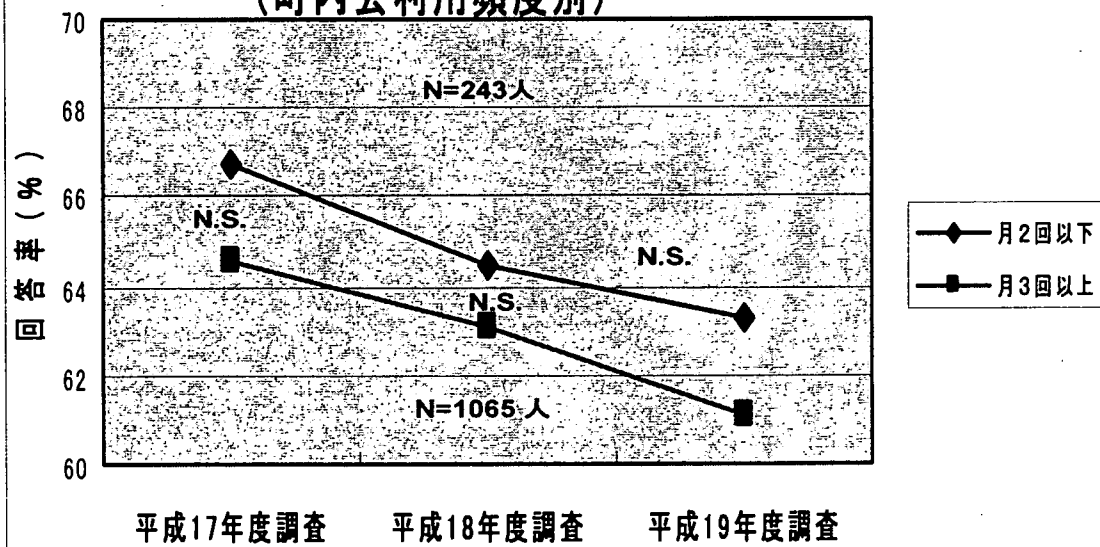


図7. この1年間に通院が無い割合
(町内会・公衆浴場利用頻度3群)

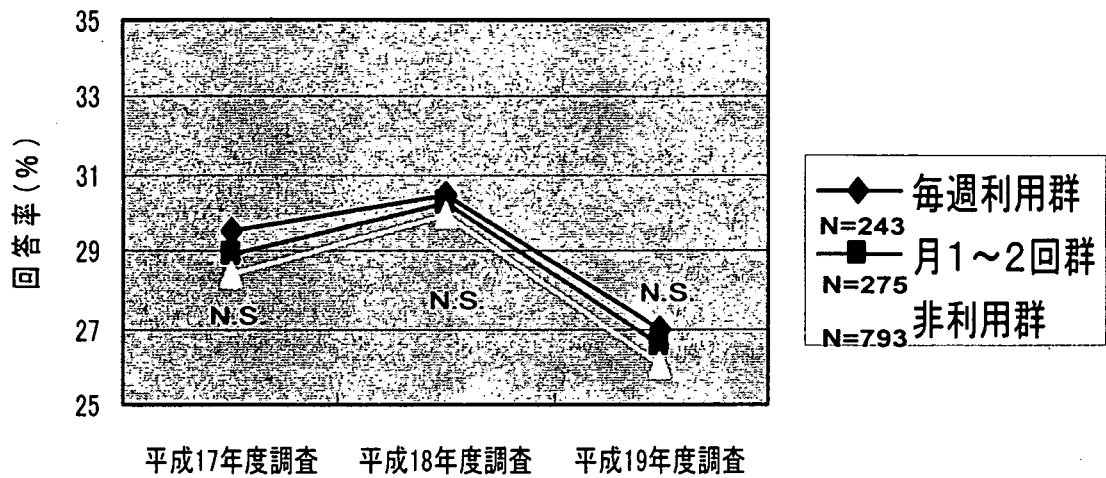


図8. この1年間に仕事を休まない
(町内会・公衆浴場利用頻度3群)

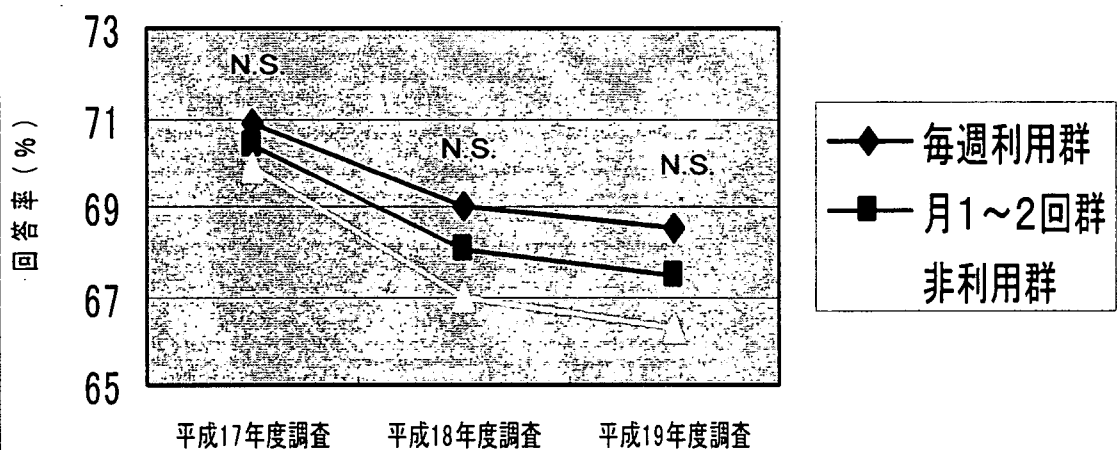
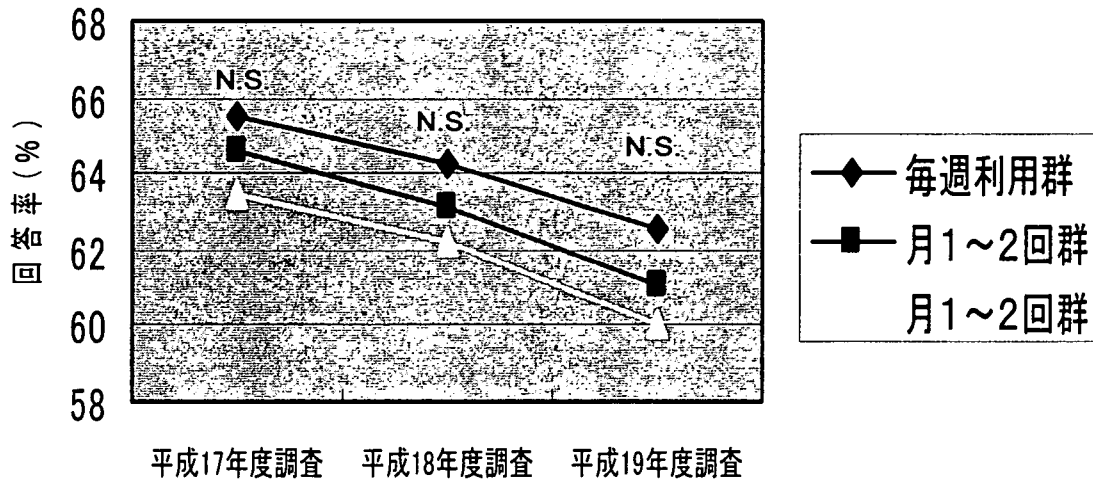


図9. 最近の健康状況が良い割合
(町内会・公衆浴場利用頻度3群)



町内会の中での公衆浴場の利用頻度別の比較

(公衆浴場の利用が週1回以上を「利用群」それ以下を「非利用群」とした。
なお、両群で性・年齢階級に有意な差異は無かった)

表55. 健康状況の変化別人数

	浴場利用群 (%)	浴場非利用群 (%)
2段階改善	1(0.4%)	5(0.5%)
1段階改善	44(18.3%)	164(15.9%)
変化なし	151(62.7%)	635(61.7%)
1段階悪化	43(17.8%)	206(20.0%)
2段階悪化	2(0.8%)	18(1.7%)
3段階悪化	0(0.0%)	1(0.1%)
検定結果	N.S.	P<0.2で悪化

非利用群の方は2年間で悪化してことが示唆された、一方浴場利用群は健康状態が維持されていた。

いずれの場合でも、対象人数が図 1～3 の結果より少ないこともあり、3 群間に有意な彩まではなかったが、公衆浴場の利用

4. 3年間を通して追跡可能であった者のベースラインのデータを用いた解析（浴場利用者対象と町内会対象の合計 2561 人分全データを用いた分析）

判りやすくするために、実際の設問分ではなく「健康状態の悪い方（0とする）」に対する「健康状態の良い方（1とする）」オッズ比で、解析に用いる説明変数も「望ましくないと思われる回答（0とする）」に対する「望ましいと思われる回答（1とする）」に方向性を統一した（従って、オッズ比が 1 以上となる場合が多い）。

分析方法は全ての変数を 2 値化した 2 項の多重ロジスティック分析を用いた。

表 56. ここ一年の通院の有無（なし／あり）

	有意確率	オッズ比
入浴の頻度（週 3 回以上／週 3 回未満）	N. S.	1.03
公衆浴場の利用（毎月／ほとんど行かない）	P<0.05	1.21
20 分週 2 回以上運動習慣（運動習慣有／無）	N. S.	1.07
現在の生活の質（いい方／悪い方）	P<0.01	2.08
性別（女性／男性）	N. S.	1.17
年齢階級（60 歳以下／60 歳以上）	P<0.01	2.30

頻度が高いほど健康状況が良好な値であった。

表 57. 一年間仕事を休まない（はい／いいえ）

	有意確率	オッズ比
入浴の頻度（週 3 回以上／週 3 回未満）	N. S.	1.07
公衆浴場の利用（毎月／ほとんど行かない）	P<0.05	1.19
20 分週 2 回以上運動習慣（運動習慣有／無）	N. S.	1.09
現在の生活の質（いい方／悪い方）	P<0.01	2.13
性別（女性／男性）	P<0.01	1.30
年齢階級（60 歳以下／60 歳以上）	P<0.01	2.30

表 58. 現在の健康状態（良い方／悪い方）

	有意確率	オッズ比
入浴の頻度（週 3 回以上／週 3 回未満）	P<0.01	1.29
公衆浴場の利用（毎月／ほとんど行かない）	P<0.05	1.21
20 分週 2 回以上運動習慣（運動習慣有／無）	P<0.05	1.19
現在の生活の質（いい方／悪い方）	P<0.01	2.50
性別（女性／男性）	P<0.05	1.37
年齢階級（60 歳以下／60 歳以上）	P<0.01	3.34

これらの結果でも、公衆浴場の利用が他の要因で補正しても 5%水準で有意に健康

状態を良くすることが示された。

D. 考察

平成 19 年度の調査の結果の方がわずかながら平成 17 年度の調査結果より、公衆浴場の習慣的利用者の健康状況が良いことが多く示唆された。3 年間の公衆浴場の習慣的視兩者及び周辺町内会の一般住民の追跡研究の結果から、公衆浴場の利用が住民の健康状況によい影響を与えていることが示唆された。

多重ロジスティックの分析では、単純な 2 群の比較では有意な差異がないものでも、2 群の性・年齢階級が同じケース・コントロールスタディの形式だったが、当然ながら高齢者に健康状況が悪い者の割合が高いので、それらの変数で補正すると、公衆浴場の利用が有意に健康状況に影響していることが浮き彫りとなったと考えられる。

E. 結論

公衆浴場習慣的利用群の方が一般住民と比較し健康状況の者の割合が多いことが示唆され、また、生活の満足度が高い者の割合が多く、地域活動への参加も優れている傾向があったことなどから、公衆浴場の利用が弱いながらも地域住民の健康に寄与していることがうかがわれた。

また、3 年間の調査をリンケージして追跡研究の結果から、公衆浴場の利用が住民の健康状況によい影響を与えていることが示唆されたことから、公衆浴場のさらなる使用促進が住民の健康増進に寄与することが示された。

従って、高齢者への公衆浴場の利用券の配布など、公衆浴場のさらなる利用の促進

の政策が地域住民の健康状況の維持・増進に寄与することが示唆されたと考えられた。

参 考 文 献

1. 鏡森定信、関根道和、梶田悦子、松原勇、大村栄：わが国における筋骨格系症状の療養に関する需要と供給の検討、日本温泉気候物理医学会誌、第 64 巻第 2 号、p.103-112. 2001.
2. 田村耕成、倉林均、久保田一雄：温泉浴の凝固調節因子に及ぼす影響、日本温泉気候物理医学会誌、第 64 巻第 3 号、p.141-144, 2001.
3. 光延文裕、他 10 名：気管支喘息及び肺気種に対する温泉療法、日本温泉気候物理医学会誌、第 64 巻第 3 号、p.182-190(2001.8)
4. シンポジウム「QOLからみた温泉療法・気候療法・物理療法のエビデンス」、日本温泉気候物理医学会誌、第 65 巻第 1 号、p.15-23, 2001
5. 鏡森定信、他 8 名：海洋深層水温浴効果の心理・生理学的指標による検討、日本温泉物理医学会誌、第 65 巻第 2 号、p.73-82, 2002.
6. 延永正、片桐進、久保田一雄：QOLからみた短期温泉療養の効果—全国調査より—、日本温泉気候物理医学会誌、第 65 巻第 3 号、p.15-23, 2001.
7. シンポジウム「温泉を利用した健康増進及び疾患予防」、第 67 回日本温泉気候物理医学会総会口演要旨、p.30-35, 2002.
8. 美和千壽、杉村公也、川村陽一、出口晃、岩瀬敏：40℃入浴時の循環動態と体温調節機能の変化における加齢の影響、日

本温泉気候物理医学会誌、第65巻第4号、
p. 187-193, 2002.

9. 日本温泉気候物理医学会編. 温泉医学
(教育研修会講義録). p162-164,
p181-182, 日本温泉気候物理医学会, 東京,
1990.

10. 清水富弘監修. アクアスポーツ科学.
p80-86, p124, 科学新聞社, 東京, 1997.
2.3

11. 樋口 満. 成人女性の骨の健康に対す
る運動と栄養の影響. 牛乳栄養学術研究会,
第16回国際学術フォーラム報告書.
P36-57, (社)全国牛乳普及協会. 東京,
2002.

12. Montoye HJ, Metzger HL, Keller JB.
Habitual activity and blood pressure.
Med Sci Sports, 4, 175-181, 1972.

13. 鏡森定信, 中谷芳美, 梶田悦子, 他3
名. 温泉利用とWHO生活の質—温泉利用の
健康影響に対する交絡要因としての検討
—. 日本温泉気候物理医学会誌第67巻第1
号, p71-78, 2004.

14. 松原勇, 鏡森定信: 温泉の利用頻度と健
康状態の分析, 石川看護雑誌, 第2巻, p. 53-
57, 2005.

15. 松原勇, 鏡森定信: プログラム化された
温泉運動浴コースの長期効果に関する事例・
対象研究, 石川看護雑誌, 第3巻第1号, p. 5
3-57, 2005.

16. 松原勇, 鏡森定信: 休養目的での温浴施
設滞在と健康状態との関係の統計的研究, 石
川看護雑誌, 第3巻第2号, p. 45-50, 2006.

F. 危険情報

なし

G. 学会発表

1. 鏡森、松原、金山、関根：公衆浴場利
用者の健康状態に関する疫学的調査、第71
回日本温泉気候物理医学会総会誌、p. 31、
2006.5

2. 松原勇、鏡森定信：公衆浴場の習慣的
利用者と一般住民の生活習慣・健康状況等
の事例・対照研究、第65回日本公衆衛生学
会総会抄録集、p. 426、2006.10

3. 孫迎春、松井、松原、鏡森：入浴の効
果と事故に関する調査、富山県公衆衛生学
会, 2007.2

4. 松原勇、鏡森定信：公衆浴場の習慣的
利用者と一般住民の地域への関心・密着度
の比較研究、第35回北陸公衆衛生学会講演
集、p. 17, 2007.11

5. 松原勇、鏡森定信：公衆浴場が健康づ
くり果たす役割の調査研究—公衆浴場の
習慣的利用者と一般住民及び公衆浴場経営
者に対する調査—、第72回日本民族衛生学
会講演集、p. 162-163, 2007.11

H. 知的所有権の出願・登録状況

なし

付録1. 生活習慣と健康の調査(平成19年度町内会用)

町内会番号() 対象者の番号()

該当する性・年齢に○をつけてください。

性別	男・女	年齢	20代・30代・40代・50代・60代・70代
----	-----	----	-------------------------

当てはまるものに○をつけ、()内には適当な数値や文字を記入してください。

問1 この1年間に、どのくらい、医者にかかりましたか(通院)。

1. かかっていない
2. 年に10日程度
3. 月に3~4日程度
4. 週に2~3日程度
5. それ以上

問2 この1年間に、どのくらい入院しましたか。

1. 入院していない
2. 1ヶ月
3. 1ヶ月以上3ヶ月未満
4. 3ヶ月以上6ヶ月未満
5. それ以上

問3 この1年間に、病気で仕事を休んだり、床についたりしましたか。

1. なかった
2. 1~3日
3. 4~6日
4. 7~13日
5. 14日以上

問4 あなたの身長と体重はどの程度ですか。

身長(約 cm) 体重(約 kg)

問5 現在、タバコは吸いますか。

1. 吸う(本/日)
2. やめた(年前)
3. 以前から吸わない

過去1ヶ月の体や気持ちの具合を思い起こしてお答えください。

問6 過去1ヶ月間のあなたの健康状態はいかがでしたか。

1. 最高に良い 2. とても良い 3. あまり良くない 4. ぜんぜん良くない

問7 過去1ヶ月間に、歩いたり階段の上り下りに、支障がありましたか。

1. ぜんぜんなかった 2. わずかにあった 3. かなりあった 4. できなかった

問8 過去1ヶ月間にいつもの仕事や家事に体の具合のせいで支障がありましたか。

1. ぜんぜんなかった 2. わずかにあった 3. かなりあった 4. できなかった

問9 過去1ヶ月間に、体の痛みはどのくらいありましたか。

1. なかった 2. かすか 3. 軽い 4. 強い 5. 非常に激しい痛み

問10 過去1ヶ月間、元気でしたか。

1. 非常に元気だった 2. かなり 3. 少し 4. わずかに 5. 全く元気なし

問11 過去1ヶ月間に、人とのふだんのつきあいに、体や気持ちのせいで支障ありましたか。

1. ぜんぜんなかった 2. わずかに支障あった 3. 少し支障あった
4. かなり支障あった 5. つきあいができなかった

問12 過去1ヶ月間に、不安、落ち込み、イライラなどで悩まされましたか。

1. ぜんぜんなし 2. わずかに 3. 少し 4. かなり 5. 非常に悩まされた

問13 過去1ヶ月間に、ふだんの仕事や家事に、気持ちのせいで支障ありましたか。

1. ぜんぜんなし 2. わずかに 3. 少し 4. かなりあった 5. できなかった